



副代表幹事
人財育成・活用委員会 委員長
橘・フクシマ・咲江
G&S Global Advisors Inc.
取締役社長

Contents

■特集	
2012年度(第27回) 経済同友会 夏季セミナー(前編) 復興と成長への決断と実行	02
東北アピール2012	03
■Close-up提言	
社会的責任経営委員会 提言 岩田 彰一郎 委員長 企業は社会的責任経営を通じ 持続可能な社会と企業の 相乗発展を目指すべきだ	17
■Column	
巻頭言 橘・フクシマ・咲江 「女性起業家支援による国の競争力強化」	01
リレートーク 長江 洋一 「還暦を機に飛行機の免許に挑戦」	21
私の思い出写真館 野田 由美子 「清華大学の仲間たち」	22
新入会員紹介	19

「女性起業家支援による国の競争力強化」

日本政策投資銀行(DBJ)が昨年から半年をかけて実施した「DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」の最終審査委員長を務めた。DBJのアドバイザー・ボードのメンバーであることからお引き受けしたのだが、「ダイバーシティ促進」という観点からも貴重な経験となった。

コンペティションには600人を超える応募があり、DBJの事務局が22名まで絞り込み、続いて現地訪問や面談を経て10名が最終審査に残った。5月30日の最終審査会当日は、各候補者による最終審査委員へのプレゼン、質疑応答を経て、最終審査委員会で審議が行われ、受賞者を決定した。全体で8時間にもわたる、実に熱気にあふれた審査会となった。最終審査委員のメンバーも、成功された女性起業家、投資やベンチャーの専門家とそれぞれの専門領域で活躍されている方々で構成され、多面的な審査ができたと思う。

3週間後(6月19日)の授賞式では、「女性起業大賞」には最大1,000万円、「女性起業優秀賞」と「女性起業震災復興賞」には最大500万円を寄贈。他にも特別賞が授与された。「保守的な印象のDBJが女性起業家を支援」という話題性もあり、NHKの「クローズアップ現代」(7月11日放送)で取り上げられ、DBJでは今後も、最終候補者も含めネットワーク構築の機会の提供や受賞者への経営アドバイス等による支援を予定している。

一番感銘を受けたのは、候補者の方々の「信念を持って事業を前に進めよう」とする熱意と潔さである。私は20年にわたる人財(注1)ビジネスの中で、性別、国籍、年齢、宗教等の「ダイバーシティ」の要因は、その「人」の個性の一部ととらえるようになり、「女性」「アメリカ人」等のカテゴリーでは判断しないように気を付けている。しかし、今回は「女性パワー」の醍醐味をあらためて認識する良い機会となった。

さらに、「日本人は起業家度が低い」という認識を改めることができた。54カ国・18万人の調査を通して“国の起業家度”を測っているGEMの2009年調査では、日本は「イノベーションによって成長する経済」カテゴリーの20カ国中、ほぼすべての項目(「失敗の恐れ」と「メディアの関心」を除く)のスコアが最下位である(注2)。ところが、今回のコンテストで見た限り、女性にはこのスコアが当てはまるとは思えない。どうも“一番身近なダイバーシティ”である女性の活躍は日本の起業家度向上にも貢献しそうである。

経済同友会の「人財育成・活用委員会」では、昨年度より“国際競争力強化に向けて人財のダイバーシティを促進し、イノベーションを喚起する”ことを検討中である。その活動の第一弾として5月に提言「『意思決定ボード』のダイバーシティに向けた経営者の行動宣言～競争力としての女性管理職・役員の登用・活用～」を発表した(注3)。第二弾は「外国籍高度人財」の登用である。ちょうど、第一弾の“宣言”を実行するために、現状把握のアンケートを配布したところである。皆さま、ぜひご協力をお願いします!

(2012年7月末執筆)

今月の表紙:世界の文様シリーズ

【ザンビア共和国/ファブリック柄】

アフリカの様様ではよく見かけるプリミティブな柄で、親近感があります。政治的経済的な困難を乗り越え文化は受け継がれています。

(注1)人はすべての社会の基本であり、企業においても同様であるという考えから、「人材」を財産として見る「人財」と表現している。

(注2)GEM:Global Entrepreneurship Monitor

調査の詳細は <http://www.gemconsortium.org/docs/download/265>

(注3)提言本文は <http://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2012/120528a.html>